

ほっかぽか

かわにししりつほいくしよほうし
..... 川西市立保育所情報誌



平成29(2017)年10月2日 No.38

編集・発行 川西市教育委員会事務局

こども未来部こども家庭室こども育成課

TEL (072) 740-1175 (直通)

FAX (072) 740-1339

どうしておもちゃをいっぱい出すの??

1歳前後になると、手の届く範囲が広がり、引き出しを開けられるようになり、成長は嬉しいけど片付けても片付けても、あっという間に部屋中が物やおもちゃでいっぱいになってしまう・・・
こんな経験ありませんか？



「これなあに??」「おもしろいな」 出してさわってあそぶことがだ～い好き！！

自由に手が使えるようになり、好きな場所に行けるようになると、いろいろな物に興味を持ち、棚にあるものを手当たり次第に引っ張り出したり、ティッシュをすべて出したりと、おとなの目からは散らかしてばかりに映りますよね。「物を出す」という行為は、子どもたちにとって好奇心と欲求を満たす重要な遊びで、「出す」ことを知っているからこそ、「入れる」ことが出来るようになります。

たくさん【“出す” = 散らかす】経験を積み重ねることは、実は、【“入れる” = 片付ける】ということへ通じているのです。



子どもはお片付けが「できない」のではなく、「知らない」だけです。

一緒に片付けることで「お片付けの仕方」を伝えていきましょう。

では・・・

実際にこんな時には、どうしたらいいのでしょうか??

かごに写真やイラストを貼るのもおすすめです☆

「すぐに、部屋いっぱいに広げる…」

欲しい物が出しやすく、置いてありますか？

見やすく、取り出しやすく、少し分類をして、置場所を決めましょう！

おもちゃの定位置が決まっていれば、探さなくても必要な物だけ取り出せて、片付けやすいですよ。

遊ばない物はありませんか？ 量は多すぎませんか？

使わなくなったおもちゃが、おもちゃ箱を占領していませんか？

子どものマイ・ブームを知って時々入れ替えると、量が減って片付けが楽になるかもしれません。



【棚とかごを利用】

「言ってもすぐに片付けない…」

「お片付け」を知らせるタイミングは、どうですか？

遊びが盛り上がり、楽しそうな様子を見ると声はかけにくいもの…。

楽しい時間であればあるほど、子どもも「もうちょっと・・・」と気持ちの切り替えがしにくいものです。子どもが楽しく遊べたことを喜びながら、次に待っている行動の見通しや、期待が持てるような言葉をかけてあげるといいかもしれませんね。

たくさんのおもちゃを片付けするのに、どれくらいの時間の余裕を持っていますか？

片付ける少し前に、「〇〇したらおしまいね」「あと〇回ね」などと、もうすぐ終わりだと分かるようにあらかじめ伝えておくと、気持ちの切り替えがスムーズにできることがありますよ。



お部屋がきれいになったらご飯ね♪

「結局お片付けは、私の仕事…」

「一緒にお片付けしようね！」おとながお片付けを、手伝ってもいいですよ。

子どもは、見て覚えていきます。一緒にお片付けをするおとなの姿から見習うことが多いです。片付けるという行為は、「物をしまう」だけでなく、使う時に「使いやすくしておく」ということにも、つながっています。おもちゃを「片付ける」ということだけにこだわらず、使った物を「元にもどす」という習慣のひとつととらえ、おとなと一緒に繰り返すことで、お片付けが身についていきます。あそびの延長として、楽しみながら一緒に片付けたり、棚や入れ物の工夫をしてみるといいですね。

このお人形のお家はどこかな？

お人形のママもお家で待ってるよ。

最後のおもちゃを箱に入れる「お・し・ま・い！」は、子どもの役割にしましょう。

それが、あそびから次の行動へ「子ども自身が気持ちのけじめをつける」という大事な行為になるからです。

そして、お片付けができたという、大きな達成感を味わうことができ、「次もやってみよう」と思える意欲と自律（自立）心を育てます。



初めから、完璧でなくて大丈夫ですよ。

お互いのイライラやストレスを減らして、少しずつ「お片付け」ができるようにしていきませんか☆





この指と〜まれ!



保育所で人気の遊びや絵本の紹介コーナー
今号は「手作りおもちゃ」の紹介です

1歳を過ぎる頃になると、徐々に小さな物を人さし指と親指だけでしっかりとつまめるようになってきます。そこで、今回は、この時期大好きな“入れたり、出したり”する遊びを満喫できる手作りおもちゃ「**ポットン落とし**」を紹介します。

ペットボトルや市販のタッパーなど、身近にある空き容器に穴を開け、そこに「ポットンポットン」と入れて遊びます。

お子さんの成長や遊び方に合わせて、容器の口が大きいものから小さいものへ、入れるものも短（太）いものからだんだん長（細）いものへ、変化させてもおもしろいですよ♪



注) 呑み込まないよう、見守ってあげてくださいね。



ストローを適当な長さに切って…
ポットン!



ペットボトルのキャップ2個を
ビニールテープでくっつけたものを、
つなげて…**ポットン!**



ペットボトルのキャップの中に、
ボタンやビーズを入れると音が
出て楽しさ倍増!!
外側にマジックテープを付けると、
つなげて楽しむこともできます♪



段ボールに穴をあけてボールを…
ポットン!



出す(引っ張る)遊びも大好き♡
薄手のハンカチなどを交互に
重ねてウエットティッシュケース
に入れて…どんどん出てきて
楽しめます♪

子どもの手の動きは「にぎる」から「つかむ」、そして「つまむ」へと変わって
いきます。

「おもしろいね」「できたね」「もうっかい!」と
子どもが夢中になれる遊びを見つけ、たくさん楽しめるといいですね。



けんこう あんぜん
健康・安全



ちしき
知識



じゅんび ばんぜん
準備は万全??

震災をきっかけに、防災グッズや非常用袋を用意したという方も多いかと思いますが、いざという時のためにも、赤ちゃんのための防災用品を用意しておくとうれしいですね。

赤ちゃん用はいつものお出かけバックに、おとな用はリュックに常備して、手の届くところに、置き場所を決めておきましょう。

お兄ちゃんお姉ちゃんがいたら、子ども用リュックも用意しておくといいですね。



赤ちゃん用 緊急持ち出しグッズ チェック表

<input type="checkbox"/> 粉ミルク 3日分 (スティックやキューブのものが便利)	<input type="checkbox"/> 哺乳瓶 (使い捨てのものがあれば便利) 紙コップ・ストロー
<input type="checkbox"/> 飲料用・ミルク用の水 (計1ℓ)	<input type="checkbox"/> ベビーフード・子ども用スプーン (すぐ食べられる瓶タイプが便利! 消費期限チェックも忘れずに!)
<input type="checkbox"/> おやつ	<input type="checkbox"/> ヘルメットか帽子・靴
<input type="checkbox"/> 紙おむつ 3日分 (1つずつビニールに入れておくと、使用済みおむつを入れる時に便利)	<input type="checkbox"/> ベビー用着替え 3日分 (季節の変わり目や成長に合わせて交換を。)
<input type="checkbox"/> 携帯用おしり拭き (ウェットティッシュ)	<input type="checkbox"/> バスタオル (洗濯バサミがあるとより便利)
<input type="checkbox"/> 母子健康手帳・健康保険証	<input type="checkbox"/> 抱っこひも
<input type="checkbox"/> おもちゃ・絵本	<input type="checkbox"/> ネームタグ (赤ちゃんの名前 (呼び名)・両親の名前・連絡先・血液型・アレルギーの有無・家族の写真など)
<input type="checkbox"/> 防災用アルミシート (防寒・日よけ・防水・敷物などに利用。ポリ袋やレジ袋でも代用できます。)	

*その他に、各家庭で必要な防災グッズを用意したり、他のもので代用することもできます。

ひごろ ころがま たいせつ
日頃からの心構えが大切!

- 地震の時はまず、赤ちゃんの頭を守りましょう。周りに倒れてくるものがない場所(テーブルの下など)に避難を。おとなもパニックになりそうな状況ですが、あわてて外に飛び出さず、まずは深呼吸して冷静になりましょう。
- 地震の揺れが落ち着いたら、火や電気を消して玄関ドアや窓などを開けて出口を確保しましょう。
- 電気が切れて真っ暗になっても慌てないで懐中電灯を点灯して行動。懐中電灯はわかりやすい所に置いておきましょう。
- テレビやラジオで正しい情報を聞いて、今後の行動を冷静に考えましょう。
- 避難するときは、おとな用持ち出しグッズを背負い、片腕に赤ちゃんを抱っこ。もう片腕には赤ちゃん用持ち出しバッグを持って、必ず靴を履いて、戸締りをして避難しましょう。
- 山くずれ・がけくずれ・津波の他、落下物・ブロック塀などにも注意し、できるだけ広い道から避難しましょう。
- 車に乗っている場合は左に寄せて停車し、避難はベビーカーでなく抱っこか徒歩にしましょう。

